

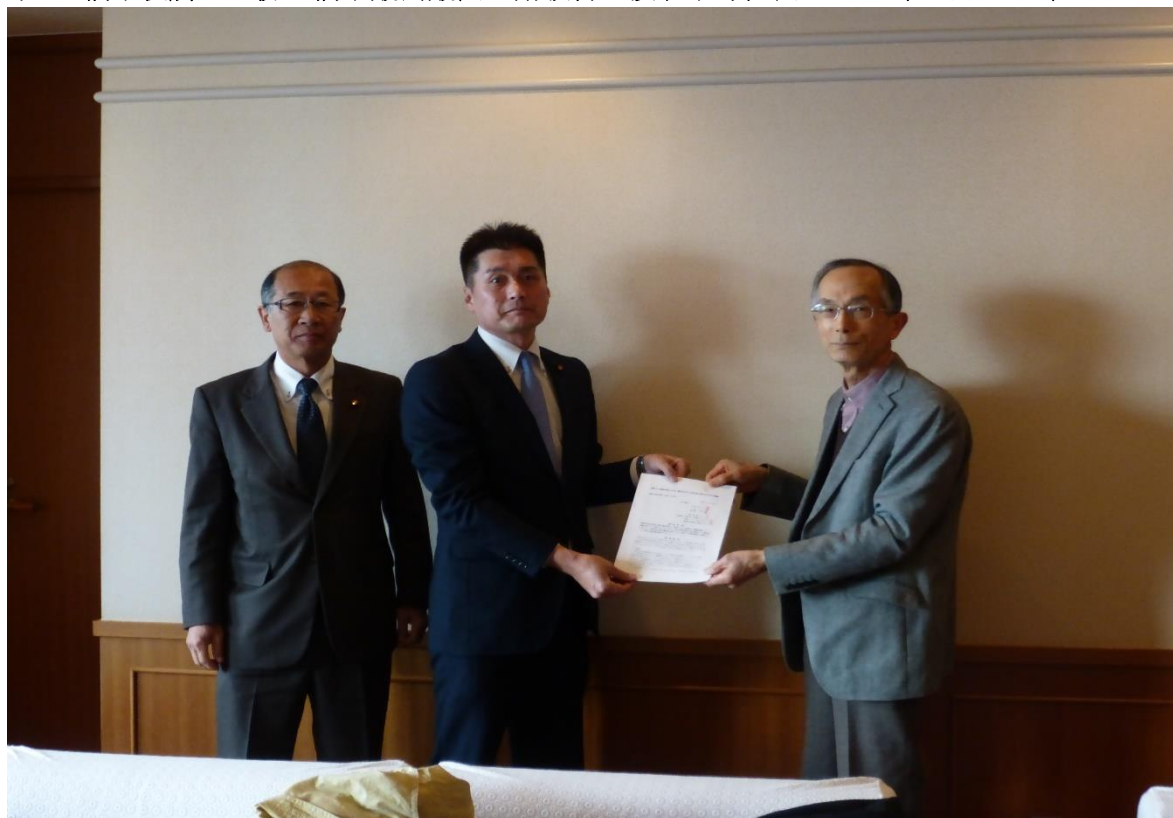
設楽ダムの建設中止を求める会

第 45 号 2017 年 4 月 10 日

<http://www.nodam.org/>

H29 年 3 月議会に愛知県知事、愛知県議会へ請願「愛知県は、設楽ダム貯流水に設定した水道用水の使用権を取り下げてください。」を提出！

(写真は豊橋市役所で坂柳豊橋市議会議長に請願書を渡す市野代表 2017 年 2 月 24 日)



他に請願項目として

- 1、かんがい用水の使い過ぎの原因を調べ、豊川用水の節水に取り組んでください。
- 1、ダム事業優先を止め、豊川下流部の堤防強化や遊水地対策を進めてください。
- 1、奥三河地域の森と清流、自然を活かした持続可能な地域振興を支援してください。
- 1、日本一のアサリなど、三河湾の漁業資源と生物多様性の保全に取り組んでください。

愛知県は特定多目的ダム法の第 2 条における水道用水の取水権を設定して設楽ダム事業に参加していますが、その根拠は市民による検証によって失われました。その事実から愛知県知事、県議会へ標記の請願を提出しました。また下流域の自治体である豊橋、豊川 2 議会へは請願「愛知県が水道用水の取水権を設定して参加している設楽ダム建設事業について、根拠がないことが明らかとなったので、地方自治法第 99 条の規定により愛知県に対して、水道用水の使用権設定を取り下げ、設楽ダム建設事業から撤退することを求める意見書を提出すること」を提出しました。また蒲郡、田原では地元の市民団体が同じ趣旨の請願を提出しました。愛知県議会を含めて 5 議会で審議されました。

結果はすべての自治体で賛成少数のため不採択となりましたが、委員会での審議に傍聴者が増え、設楽ダム建設事業への関心が高まったことは確かです。(愛知県知事・愛知県議会、豊橋・豊川 2 議会へ提出した請願文を同封しました。紹介議員も掲載)



設楽シンポジウム「豊川下流の住民として設楽ダムをどう考えたらよいか」 に約 100 人の参加者

東三河くらしと自治研究所が開催したシンポジウム(2017 年 1 月 21 日(土)会場:豊橋市職員会館)に約 100 人の市民が参加し、設楽ダム建設中止の火は燃えていると確信する集会となりました。

設楽ダム 建設意義問う 豊橋・シンポ

設楽ダムへの見解を語る、設楽ダム建設中止を求める会の市野代表、豊橋市八町通の市職員会館で

豊川上流で建設が進む設楽ダム(設楽町)の計画に疑問を投げかけるシンポジウムが二十一日、豊橋市職員会館であり、市民ら八十人が参加した。

宮入興一愛知大名警教授が代表を務め、防災や憲法、まちづくりなどの勉強会を開いている「東三河くらしと自治研究所」が主催した。

設楽ダム建設中止を求める会の市野和夫代表が「市民が再検証すべきだ」と語った。農業

設楽ダム事業」と題して講演した。二〇〇六年に立てられた一五年の需要予測は、実績の一・九倍だったことを指摘し、「水は足りている」と強調。農業

関係者や研究者を交えたパネルディスカッションもあり、「農地は縮小傾向で農業用水の使用は伸びない」「三河湾のアサリ漁業に影響する恐れがある」などの意見が出た。

(小原健太)

中日新聞(2017, 1 月 22 日付)

1 部で市野代表は「市民が検証する設楽ダム事業」を講演しましたが、設楽ダム建設がいかに無駄な公共事業かが、豊川河口域のアサリ漁業の立場から、豊川用水を利用する農家の立場から、ダム建設予定地の地盤について、など多面的に討論されました。大変わかりやすく有意義なシンポジウムでした。

「どうしたら建設を止められるのか、いま私たちができることは」という質問が会場からあり、市野代表は次のような提案をしました。

「愛知県が設楽ダムに水利権を設定して新たな水道用水を確保する必要のないことが確認されているので愛知県が水道用水の水利権を返上すれば、特定多目的ダム「設楽ダム」は法的な根拠を失う。この水利権返上を求める署名活動をしてはどうか。」

この提案に呼応しH29 年 3 月議会への請願行動へと広がりを持つことになりました。



愛知県に設楽ダム建設事業から撤退することを求める 10 万人署名を始めました。

愛知県民のいのちと自然を守るために、次世代への負の遺産にしないために、当会はこの署名活動を行い、集まった住民の意志を直接愛知県知事に届けます。ぜひ署名にご協力をお願いします。子ども、代筆も OK です。

今回とりあえず署名用紙を 2 枚同封させていただきました。ご賛同いただける個人、団体で署名用紙をお求めの方はお名前、ご住所、必要枚数を事務局の奥宮へお知らせください。署名用紙をお送りいたします。

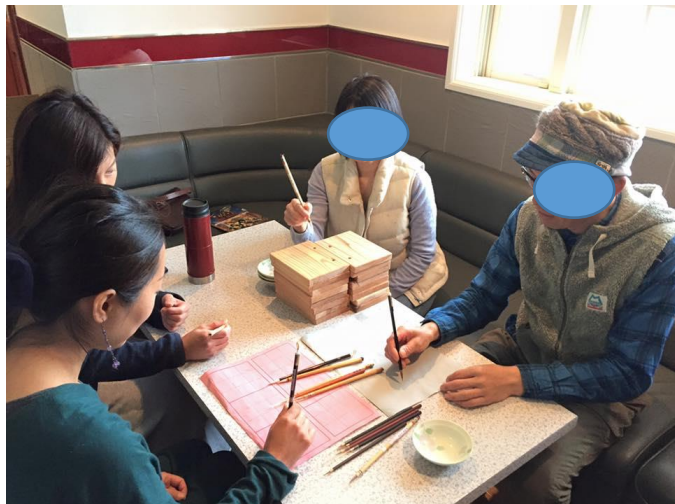
- 署名用紙は「設楽ダムの建設中止を求める会」のホームページからもダウンロードできます。
- ネット署名 change.org 「建設事業からの撤退を求める」も行っています。

豊かな自然と緑のダムを残すために運動する

新たなグループとつながりました。



高齢化が進む当会でしたが、小学生くらいのお子さんを持つ世代のお母さんを中心とした「七代先のこどもたちへ、美しい緑のダムを届ける会」のグループさんと現在情報を共有して活動を共にしています。SNSの時代にふさわしく、情報は紙ではなく facebook で共有されています。



「私たちは、今の子どもたち、そしてずっとその先のこどもたちにまで、豊かな自然と緑のダムを残してあげたいと思い、このグループを作りました。」とするこの会では、既に立ち木トラスト運動や署名活動に積極的に参加されています。請願審議にはたくさん傍聴に来てくれました。

写真は立ち木トラストの木札に名前書きをする会員みなさん。お喋りしながら楽しく作業されていました。豊かな自然を残すための活動のバトンを次の世代へつなげる予感がします。否、私たちがつなげる努力をしなければならない、ということでしょうね。この会の会員の方が次のイベントを開催されます。

●『ダムネーション』&設楽ダムシェア会

役立たずのダムを取り壊せ！すべては川の自由のために。常識を覆した挑戦者たちのドキュメンタリー。

会場：MEGURIYA（田原市若見町権亟地80）

日程：4月13日（木）10：00～13：00（軽食付き）料金 1500 円

4月15日（土）14：30～17：00（お茶付き）料金 1000 円

4月15日（土）17：30～20：30（軽食付き）料金 1500 円

会場：vegcafe LOTUS（豊橋市西岩田6-16-12）

日程：4月28日（金）18：30～21：30（食事付き）料金 2500 円

予約申し込み：MEGURIYA まで電話：0531-45-3069

★ご都合のつく方はぜひご参加ください。中止を求める会会員による設楽ダムに関する説明が行われます。「ダムネーション&設楽ダムシェア会」の申し込みは奥宮のところでも承ります。

また、立ち木トラスト作業が七代先の子どもたちへ美しい緑のダムを届ける会さんによって行われます。



立ち木札書き&紐通し作業のお誘い

立ち木トラストの木札に名前を書く、木札に紐を通す、木札にスプレーコーティングをする、などの作業を行います。交流を楽しみながら気軽にお越しくださいね！

日時：4月19日（水） 9：30～15：30

4月26日（水） 9：30～15：30

作業会場：豊川市（七代先のこどもたちへ美しい緑のダムを届ける会会員さんの家）

立ち木トラスト契約者の方のみが参加できます。

★中止を求める会会員もぜひ参加しましょう。参加できる方は奥宮までご連絡ください。作業の会場等をお知らせします。

第 11 回総会と記念講演会を開催します

日時：2017 年 7 月 2 日(日) 13:00～17:00

会場：豊橋市民センター(カリオンビル) 5階 大会議室

愛知県豊橋市松葉町二丁目 63 電話 (0532) 56-5141

駐車場はありません。近辺の有料駐車場を利用することになります。公共機関を利用ください。

1 部 設楽ダム建設中止を求める会第 11 回総会 13:00～14:00
2016 年と 2017 年のいままでの活動と設楽ダム問題の現状について報告します。

2 部 ビデオ放映「いま設楽ダム建設予定地は」 14:15～14:30

記念講演「ダムは地方を再生するのか」 14:45～16:45

講師：相川俊英氏（ジャーナリスト）



〈講師プロフィール〉1956 年群馬県生まれ。群馬県立前橋高校、早稲田大学法学部卒。97 年から週刊ダイヤモンドの専属記者。99 年からテレビ朝日系の報道番組「サンデープロジェクト」で自治体関連特集の企画を担当。2015 年まで連載のダイヤモンド・オンライン「相川俊英の地方自治”腰砕け”通信記」では立野ダム、最上小国川ダム、大蘇ダムについても取材。最近の著書に『奇跡の村 地方は「人」で再生する』、『トンデモ地方議員の問題』、『国に頼るからバカを見る』など多数。今年 3 月に「地方議会を再生する」(集英社新書)を出版した。

設楽町のホームページでは町長が

「10 周年を迎える今年度から、地方創生総合戦略、第 2 次総合計画の策定を行い、町のあるべき姿の骨格を定め、設楽ダム湖周辺整備計画や具体的な諸計画により、厳しい人口減少社会を乗り越え、これからも安心して暮らし続けることのできるまちづくりを目指してまいります。」と語っています。

果たしてダム事業によって町を再生できるのか？

また水没地区の住民が去った今、残された住民は町のために何をすべきなのか。今年 10 月町長選を迎える設楽町住民にとっては関心もたれるところです。

相川氏にそのところを語ってもらおうと思います。

会場へのアクセス



★設楽ダム問題に関心のある方はどなたでも参加できます。但し会員以外の方は参加費 500 円が必要です。



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://www.nodam.org/>

代表 市野 和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 ☎440-0069 豊橋市御園町 1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp